

3. 司会挨拶

福岡県赤十字血液センター 学術情報・供給課 小田 秀隆

皆様、こんにちは。定刻となりましたので、ただ今より、第 25 回福岡県合同輸血療法委員会を開催いたします。本日、司会を務めさせていただきます、福岡県赤十字血液センター学術情報・供給課の 小田秀隆 と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

開会にあたり、いくつか、注意事項がございます。本日は、Microsoft Teams を使用したオンライン配信であり、通信状態が不安定な場合もございます。その場合には、一度退出のうえ、再度入室をしてください。講演中は、カメラとマイクは OFF でお願いいたします。ご質問がある場合は、チャットに書き込むか、事務局あてメールにてお願いいたします。挙手ボタンのご使用は、お控え願います。本日の講演等の複写、複製、録画、録音、編集、転用は、ご遠慮ください。

それでは、開会いたします。開会にあたり、福岡県合同輸血療法委員会において、代表世話人を務めます、福岡大学病院 輸血部部長 熊川みどり先生 より開会のご挨拶を申し上げます。

4. 開会挨拶

福岡県合同輸血療法委員会代表世話人（福岡大学病院輸血部） 熊川 みどり

代表世話人を務めております福岡大学病院の熊川です。

本日はウェブ配信でご参加くださり、ありがとうございます。現在、新型コロナウイルス第 6 波の中で、日常診療、また日々の生活の中で大変な状況でいらっしゃると思います。その中で今回このような会議を、昨年は新型コロナを回避するために開催できませんでしたが、今回はウェブ配信の形で開催といたしました。

今回の会議のテーマにつきましては、2020 年から新型コロナウイルスが日本でパンデミックで拡大しましたが、その状況下で献血供給体制が逼迫した折に、血液製剤需給バランスを保つために血液センターおよび医療機関の皆さまがどのように対応され、および協力していったかを今回の会議で振り返りたいと思います。

この先新型コロナウイルスが終息したとしても、献血状況につきましては現在、若年者献血が減少しているということで、今後も献血状況の大変な現象は危惧されます。今後の対応策について、今回、会議にご出席の皆さまが考えていただける契機にいただければと思います。

以上をもちまして、開会の挨拶に代えさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。